

地域住宅生産者グループ

I D 会

076

地域型復興住宅の名称	対象となる地域
匠のすまい いわき	福島県全域及び茨城県北部

グループの特徴とメッセージ

たくさんの方づくりの方法が氾濫している。木造在来軸組工法は生産性が低いとされ、古くさいイメージばかりが残り、新しい工法とハウスメーカーが台頭し、最近では輸入住宅も多く建ち始めている。街並みを見ても、住宅展示場を見ても、そこには国籍不明の住宅が建ち並び、街からも家からも、住む人の顔が見えてこない時代となって来た。国産の木材をふんだんに使い、木架構の美しさを生かし、日本の伝統的美意識と文化の奥深さを感じる新しい木造在来軸組工法の家を、若い人たちでも建てることのできるコストで天然素材と職人さんたちの手仕事でおしゃれに造ることができたら、これからの住宅のスタンダードとして確立できるのではないだろうか。木造在来軸組工法の良さと将来性をもう一度見直し、人の住む住宅ぐらいいは工業化されたものでなく、生き生きとみずみずしい生気あふれる家がいい。素の様な考え方をを持った工務店が集まった会です。

グループの基本情報

グループ名称	I D 会
所在地	福島県いわき市鹿島町御代字赤坂 16-6
結成年月	2004年6月
グループ形態	任意団体
主たる業態	施工
グループ構成 ※各事業者名は別紙	合計 19 社 原木供給 : 1 社 製材 : 3 社 建材流通 : 2 社 プレカット : 3 社 設計 : 2 社 施工 : 7 社 その他 : 1 社
代表者名	鈴木正一(有限会社鈴勝建設代表取締役社長)
主な受賞歴・活動内容等 (※グループ構成員受賞歴)	・平成 23 年長期優良住宅先導事業採択 (実績 12 棟)

地域型復興住宅の主な工法・価格帯

主な構造・工法	木造軸組工法
価格帯	1,000~1,800 万円
価格の基準面積	100 m ²
価格に含まない項目	屋外工事費、外構工事費、設計料、諸手続費

*価格は、地域・プラン、仕様によって異なります。
詳しくはお問い合わせください。

グループ全体の施工実績 (年間)

建設戸数* (木造戸建)	80 戸
うち地域材活用の住宅	戸
うち長期優良住宅	12 戸
グループとしての施工実績	なし
グループとしての地域型住宅の受注可能戸数	80 戸
自由記入欄 (上記以外の実績等)	小規模から大規模まで、リフォーム工事の対応が可能(瓦の修繕から住宅の傾き修繕等)

*参画する施工業者の建設戸数の合計

連絡窓口

担当者名	志賀 なおみ	メール	suzukatsu-s@kba.biglobe.ne.jp
電話番号	0246-92-4728	F A X	0246-92-4785
ホームページ	http://www.suzukatsu.jp/		
自由記入欄			

地域型復興住宅

匠のすまい いわき

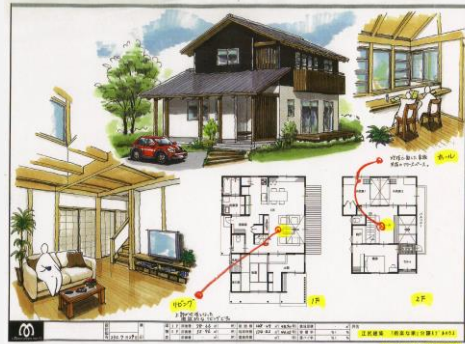
地域型復興住宅のイメージと特徴

■木造在来軸組工法と匠の家づくり

外国から来た観光客に聞かれました。「ニッポンの家はどこに建っていますか？」街にも住宅展示場にも同じ顔した国籍不明の家が並んでいます。これが日本の家だよと外国の人に誇れる家はどこにあるのでしょうか？

工業化か、手仕事か。人の住む家ぐらいいは職人の手仕事で手づくりしたい。誰もが真剣に願うところだと思います。

若い人に手の届く価格で本物の家を作るのが理念です。いくら無垢の木と職人の手仕事の家でもコストが上がっては意味がありません。毅然とした構造体、無駄な装飾をそぎ落とした後に残る本質。引き算の美学。心地よい統一感のあるシンプルなデザインは美しいだけでなく省コストにも貢献しています。



代表的事例の概要

構造	木造軸組工法	床面積	1階：78.66㎡ 2階：55.76㎡
設計	有限会社江尻建築設計事務所	施工	有限会社江尻建築
施工費	2,250万円	備考	—

設計方法や地域材活用に関する特徴

■コストダウンのアイデア

【設計】

- 1 建物は総2階とし複雑な形状を避け、シンプルにする
- 2 間取りはオープンにし間仕切や建具の数量を減らす
- 3 建物の高さを低くし容積を小さくして材工費を削減する
- 4 水廻りを集中させ無駄な配管工事を削減する

【構造】

- 1決められたグリッドに従いシンプルな構造体とする
- 2単純な切妻屋根で施工性を高める
- 3床パネル(特厚合板と断熱材の一体のパネル)を採用する。
パネル工法で工期を短縮する

設計方法の例ですが、上記の様な方針を決め、お客様が望む住宅への対応を心掛けて行きます。

主に活用している地域材について

地域材の名称	福島県産材
樹種	杉、マツ
産地	福島県
認証制度等	—
主に取扱う材種	無垢材、集成材
主に取扱う部材	柱材、梁材、羽柄材、内装材
自由記入欄	地域型復興住宅では良質な国産、県産材を80～100%活用した住宅を供給したいと考えております。

性能・仕様および施工方法等に関する特徴



地域住宅生産者グループ

I D 会

地域型復興住宅の生産供給や流通資材の調達に関する体制

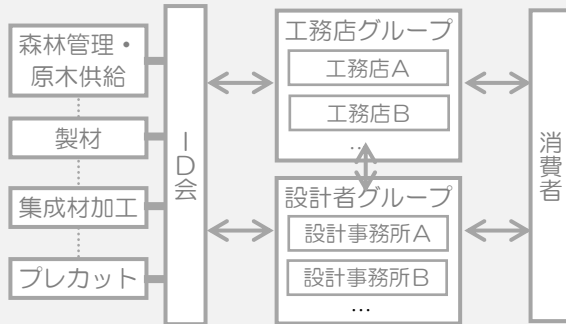
統計によると、家を建てる方々四人のうち三人が、木の家を望んでいるのです。それが、わが国の気候・風土、文化に適しているからでしょうか。

日本の家屋は、単なる生活の道具としてつくられたものではありません。快適性や便利さも重要ですが、日本人独自の哲学と精神を忘れてはならないと思います。時とともに幸せが実感され、家族とずっと住み続けたい家づくりを目指したいものです。

時が経つにつれ心地よく古美てゆく本物の素材。気候風土に合った地元の山の木で家を見て、豊かな森林を未来へつなぐこと。上質な意匠を大切に、古い価値観にとらわれず進化する家づくり。

No, image

I D 会の連絡体制



No, image

施主からの相談体制および維持管理（アフターサービス）の体制・取組み

■家づくりの主役は家族 わがままを言って下さい
家族が楽しく生活する家は、車のお仕着せの『モノ』とはちがいます。

納得の家づくりを目指すには、建主と設計者が心を通い合わせ、信頼関係を築くことが大切です。

家づくりの主役は建主です。遠慮なくわがままを言ってほしいと思います。

設計者や建築家がどんなに哲学に満ちあふれていても、プランニングやデザイン技術がどんなに優れていても、建主の心が読み取れなければ、それらは宝の持ち腐れとなります。

住まいは、長期間に渡って生活の舞台となる大切な財産です。住まいの財産価値や安全性、居住性などを長持ちさせるためには、

- ①正しく使うこと
- ②日常的・定期的に各部位の点検を行うこと
- ③必要に応じて部材や部品の補修や交換、修繕をすること
- ④住宅に起こる様々な履歴をしっかりと記録すること

〈内容例〉

- ・住宅の完成後は、第3者保険機関へお客様の住宅履歴情報を登録し維持管理を行います。
- ・完成致しました住宅は、全てJIO他、保証機関へ登録を行い保証書の発行を行います。

項目	内容	実施時期	実施状況	担当者
1	屋根・外壁の点検	竣工後1年	完了	〇〇
2	基礎・土留めの点検	竣工後1年	完了	〇〇
3	窓枠・サッシの点検	竣工後1年	完了	〇〇
4	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
5	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
6	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
7	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
8	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
9	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
10	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
11	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
12	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
13	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
14	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
15	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
16	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
17	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
18	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
19	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
20	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇

項目	内容	実施時期	実施状況	担当者
1	屋根・外壁の点検	竣工後1年	完了	〇〇
2	基礎・土留めの点検	竣工後1年	完了	〇〇
3	窓枠・サッシの点検	竣工後1年	完了	〇〇
4	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
5	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
6	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
7	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
8	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
9	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
10	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
11	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
12	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
13	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
14	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
15	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
16	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
17	給排水設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
18	電気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
19	ガス設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇
20	換気設備の点検	竣工後1年	完了	〇〇

